

2 推薦図書を紹介

子供の身近にいる保護者や教師、地域の方々が、おすすめの本を紹介することや、学校が推薦図書、必読書を選定することは、子供に本への関心をもたせ、読書を促すために大切な取組です。

図書館や学校で作成されたこれらの推薦図書や必読書の選定リストを活用し、子供たちと本との出会いの機会を一層増やしていくことが大切です。

目 標

【目標①】学校における推薦図書の選定の状況

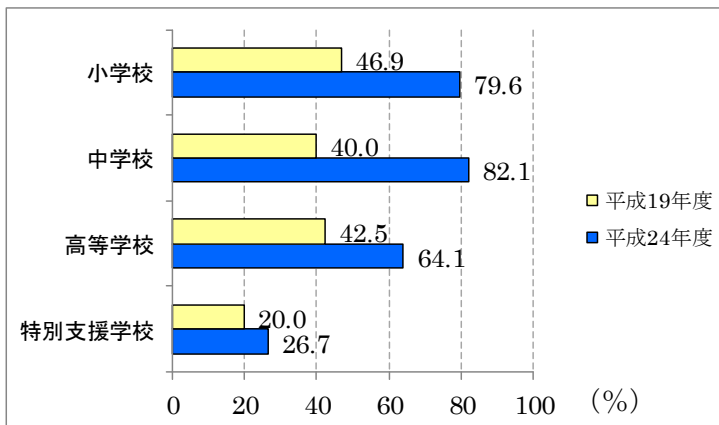
- 小学校・中学校は、100%を目指します。
- 高等学校は、80%以上を目指します。
- 特別支援学校は、80%以上を目指します。

【目標②】公立図書館における推薦図書の紹介の状況

- 公立図書館^{※1}における推薦図書の紹介100%を継続します。

現 状

▼公立学校における推薦図書の選定の状況



(平成19年度文部科学省「学校図書館の現状に関する調査」より)

(平成24年度広島県「基礎・基本」定着状況調査及び広島県高等学校共通学力テスト学校質問紙調査より)

▼公立図書館において推薦図書の紹介をしている割合

年度	平成20年度	平成24年度
割合	58.4%	100.0%

(「子供の読書活動推進に関する取組調査」より)

～ 目標を達成するための具体的な取組 ～

➤ 推薦図書を選定している学校を増加させます！

○ 各学校において、推薦図書、必読書を選定し、それらの本を読むことを読書活動の年間指導計画に組み入れます。また、同世代の子供たちや身近な大人からの推薦図書を紹介する等、本との出会いの場を充実させます。

- ・ 参考となる推薦図書のリスト例を、県教育委員会のホームページで発信します。
- ・ 司書教諭研修などの研修会で、推薦図書の重要性について周知します。



「推薦図書コーナー」
(県立尾道東高等学校)

校内に推薦図書・必読書を選定リストを活用した図書コーナーを設置している学校もあります。

➤ 公立図書館等において、推薦図書紹介のサービスの充実を目指します！

○ 公立図書館や公民館等において、推薦図書の展示や新刊情報の提供を行い、本についての情報を広く県民に発信するよう促します。

- ・ 県立図書館では、推薦図書の展示を行うほか、子供や子供の読書活動の推進に関わるボランティア等を対象にしたブックトーク^{※2}を実施し、その内容をホームページ等を通して情報提供します。
- ・ 県立図書館では、図書館職員研修や教職員向けの出前講座等で、推薦図書の紹介を行うほか、図書の選び方やブックトーク等についての研修を行います。
- ・ 公立図書館における推薦図書の紹介の継続・充実を働きかけます。



「中学生向けおすすめ本のポスター」

発達の段階に合った新しい本について、子供たちに情報提供しています。

== 用語解説 ==

<※1>公立図書館

本計画においては、公立図書館及び図書館同種施設（図書館法上、公立図書館・私立図書館以外の図書館と同じような施設）を、「公立図書館」という。

<※2>ブックトーク

子供や成人の集団を対象に、あらすじや著者紹介等を交えて本への興味が湧くような工夫を凝らしながら本の内容を紹介すること。（「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」文部科学省 平成25年）